

資料2

琵琶湖の水位低下等に関する現状および今後の対応について(報告)

琵琶湖の現状 (令和3年11月19日午前6時 時点)

- 水位 : B.S.L. - 66cm ※平年値 B.S.L. - 36cm
- 降水量 : 10月の琵琶湖流域平均降水量51mm ※平年値 146mm
11月の琵琶湖流域平均降水量29mm ※平年値 99mm

これまでの経緯と今後の対応 ※水位はおおよその目安

- B.S.L. - 50cm以下 : 水位低下による影響調査開始
(10月27日および11月12日実施)
- B.S.L. - 65cm : 水位低下連絡調整会議設置
(議長:土木交通部長)(11月17日)
- B.S.L. - 75cm以下 : 渇水対策本部設置(本部長:副知事)
- B.S.L. - 90cm程度 : 国主催の琵琶湖・淀川渇水対策会議において
取水制限等を検討

秋から冬にかけての水位低下により想定される影響

- 社会面 : 船舶の航行障害、港湾施設の機能障害、取水制限 等
 - 環境面 : 水草やゴミ等による景観の悪化、水生生物の生息環境の悪化 等
- ※春先まで水位が回復しない場合、魚類の産卵への影響が懸念される

(参考)

○水位低下連絡調整会議

構成:土木交通部長を議長とし、担当課長等 43 名で構成

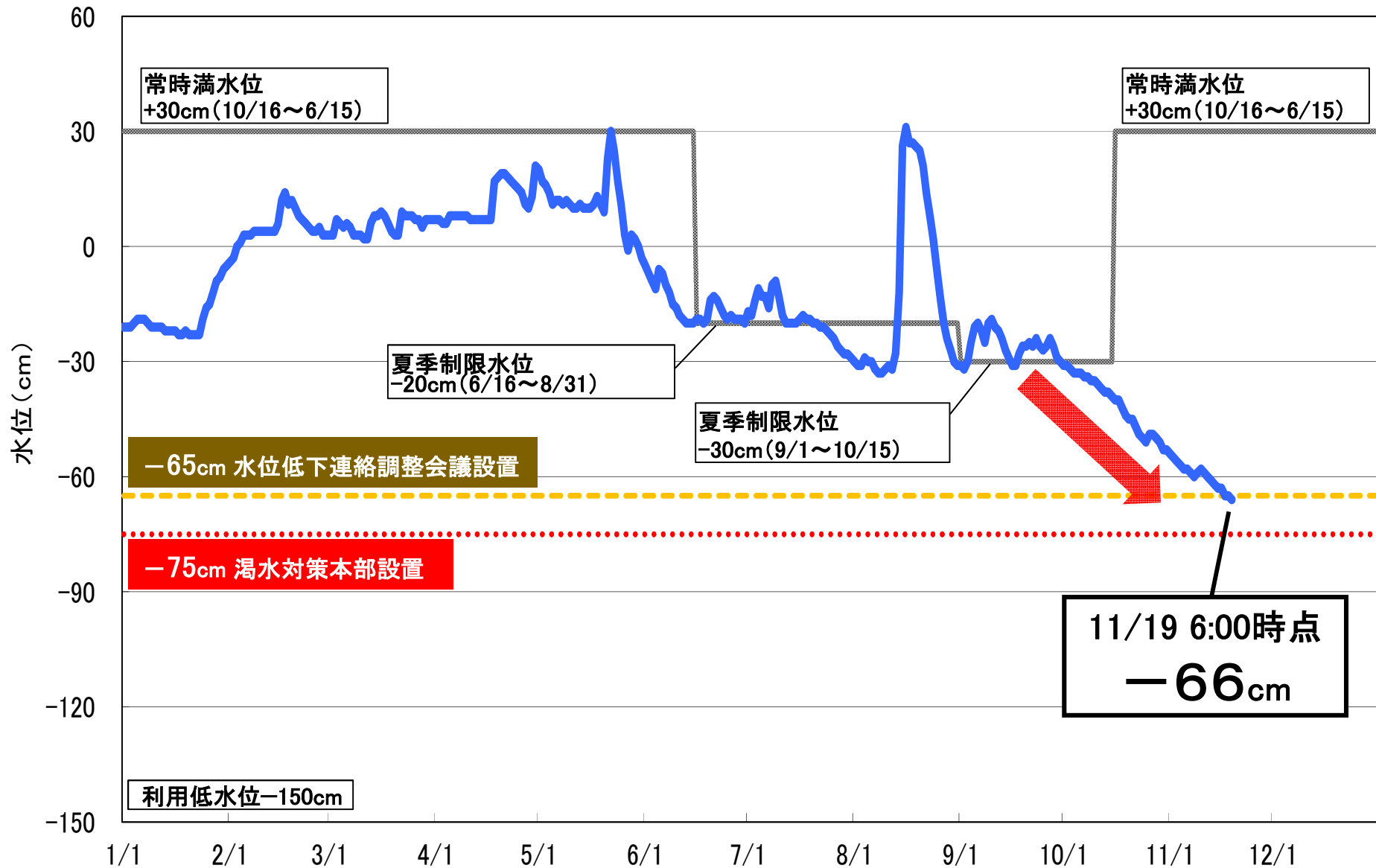
役割:水位低下による諸影響の状況調査を開始し、情報収集に努める

○渇水対策本部

構成:土木交通部を担当する副知事を本部長とし、本部員として担当部長等 12 名、専門部員として担当課長等 36 名で構成

役割:水位低下による諸影響の状況調査を引き続き実施するとともに、さらに綿密な情報収集に努め、国・水資源機構へ早急な対応を求めるべき事項や県・市町等で対応が必要となる事項等を取りまとめ、迅速かつ機動的な活動を展開する

琵琶湖水位の変化(2021年)



近年の渇水状況

年度	最低水位	取水制限実績		
		第1次	第2次	第3次
平成6年度 (渇水対策本部設置)	－123cm (H6.9.15) (過去最低水位)	－94cm ○	－108cm ○	－116cm ○
平成7年度 (渇水対策本部設置)	－94cm (H7.12.23、24)	－	－	－
平成9年度 (水位低下 連絡調整会議設置)	－69cm (H9.11.14)	－	－	－
平成11年度 (水位低下 連絡調整会議設置)	－68cm (H12.1.9)	－	－	－
平成12年度 (渇水対策本部設置)	－97cm (H12.9.10)	－95cm ○	－	－
平成14年度 (渇水対策本部設置)	－99cm (H14.10.29～11.1)	－94cm ○	－	－
平成17年度 (渇水対策本部設置)	－78cm (H17.12.5)	－	－	－
平成18年度 (水位低下 連絡調整会議設置)	－66cm (H18.11.19)	－	－	－
平成19年度 (水位低下 連絡調整会議設置)	－65cm (H19.12.4)	－	－	－